

(別紙資料) 発表一覧 (①～⑬は実施要項に示す発表の順番)

令和6年12月2日

	校種等	キーワード	研究の背景、改善したい課題
①	高等学校 物理	確信度判断、 学ぶ力	予測困難な時代において、自ら進んで学び続ける力は重要である。そこで、本研究では確信度判断と学ぶ力の関係性を調査することを目的とした。また、学ぶ力と普段の学びとの相関関係について考察する。
②	高等学校 マネジメント	探究、 地域連携、 教員の実践力	総合的な探究の時間において地域連携は欠かせない。総探の担当教員だけではなく、全教員が生徒の社会参画を促す実践力を向上させるために、管理職、学年主任、総探担当と地域がどのように連携していくべきか検討する。
③	小学校 社会	歴史、単元開発、 小学校3年生 社会科	小学校3年生は社会科において「歴史」を初めて学ぶ学年であり、歴史に対しての興味・関心を高めることで今後の歴史学習が豊かなものになると考える。歴史に対しての興味・関心を高める単元開発・教材開発を提案する。
④	小学校 マネジメント	小規模小学校、 教員の協働的な 学び	「新たな教師の学びの姿」として、教員も子供たち同様に協働的な学びの充実が求められている。小規模校化が進む県内小学校の教員の学びが、より充実するためにはどのような手立てが考えられるか、提案する。
⑤	中学校 歴史	地域教材、 歴史認識	中学校社会科の歴史的分野において、具体的な事柄を通して歴史を捉えることを目指した教材開発と実践を行い、その効果を分析する。『三閉伊一揆』を題材に、歴史を当事者的な立場として受け止め、主体的に時代を捉えられる教材の開発と、授業づくりを検討する。
⑥	中学校 心理	認知的評価、 心の健康教育	ストレスとなる出来事をどう受け止めるかという認知的評価に焦点をあてたストレスマネジメント教育の効果を、子どもたちの考え方の癖(自責・他責)の違いや、授業の理解度をもとに検証する。
⑦	小学校 道徳	「聴く」行為、 対話	小学校道徳科における、児童が「聴く」ことで学びを深める姿の探究を通して、「聴く」行為を重視することが、児童の道徳性の育成に寄与することについて明らかにする。
⑧	小学校 道徳	生命尊重、 絵本	小学校道徳科における「生命尊重」をテーマとした授業の効果的な実践方法について、「絵本」を教材として活用することの有効性や可能性を探ることから探究する。
⑨	中学校 マネジメント	若手教員の 成長、 生徒会	生徒会執行部を初めて担当する若手教員がどのように成長したのかを実践事例に基づいて検討する。さらに、若手教員が教育現場で直面する困難や課題に対して、教職員集団がどのように支援したのかについて考察する。
⑩	小学校	つまずき明確化 ツール	援助要請の出発点である「自身のわからなさに気づく」に焦点をあてた小学校算数科の実践を行い、そのビデオ分析を通して、児童の自律的援助要請を促進する授業の要点を明らかにする。
⑪	中学校 保健体育	共生体育、アダプ テーション・ゲーム、 心理的安全性	体力や技能、性別や障がいの有無等のあらゆる格差を包摂することが期待されるアダプテーション・ゲームを実践し、共生体育態度や学習者の心理を検証し、共生の視点を重視した保健体育授業のあり方を考察する。
⑫	中学校 技術	情報デザイン、 意識尺度開発	AIやIoTの進展に伴い情報教育が重視される中、中学校技術科において情報デザイン教育は未整備である。この課題に対し、情報デザインの意識尺度を開発し、それを基にした授業実践を行い、教育効果を測定し検証する。
⑬	特別支援	分教室、 交流及び共同 学習	特別支援学校分教室の併設校と交流及び共同学習を効果的で継続的に実施するため、実施手順及び要領をPDCAサイクルにし、マネジメントの手順及び内容を明らかにする。
⑭	特別支援	知的障害、 補助具	知的障害特別支援学校の作業学習におけるモノの支援として補助具が有効である。補助具開発にかかる教員の内的プロセスと開発された補助具の効果を検証する。
⑮	小学校 算数	主体的な学び、 評価	算数科における主体的な学びの姿を探るため尺度開発を行う。それを基に手立てを組み、授業を開発し実践する。その有効性を検証するとともに、子どもの姿を評価し、主体的な学びの姿を促す授業づくりについて考察する。
⑯	小学校 外国語科	音韻・音声認識を 高める文字指導	英語の音と文字をつなげて読む力の育成を目指し、音韻・音素認識を高める文字指導の方法を示す。